

法人名	株式会社スローライフ	代表者	喜井 茂雅	法人・事業所の特徴	理念である「自分されたり言われて嫌なことはしない言わない」という関わり方を常に心掛け、なじみの関係を大切にして、在宅での生活が継続できる支援を行っています。お祭りなど地域の行事活動に積極的に参加させていただき、地域とのふれあいを大切にしています。
事業所名	しょうきぼたきのうほうむ3丁目	管理者	山中康平		

項目	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価の内容は運営推進会議出席していただいている地域の方や家族様に報告をし、サービス評価を行った。 ●感染症防止対策のため、外出援助が少なくなったり家族との交流の機会も減っていると感じた。 ●共有が一方的になっていると感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価内容を自社ホームページに掲載し、共有する。 ●感染症対策を意識しながら、庭作業やご近所までの散歩など外出支援を心がける。 ●利用者様の状態に対応して支援・活動内容を工夫し、継続してできることを支援する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●環境整備・感染症対策をはじめ、挨拶などできている。 ●季節に合わせた調理や共有空間の飾りなどを利用者さんと一緒に作業している。 ●園芸活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●たくさんの利用さまを支援しているので、衛生管理に気を付ける。 ●園芸活動及び収穫への支援を継続 ●季節行事の飾りなど利用者さんと一緒に活動し、環境を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の開催を含め、地域の活動も全面的に中止になってしまい、毎年行っていた地域とのふれあいの機会が消失した。 ●文書の送付はあるが、現状等聞く機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今まで参加させてもらっていた地域活動が少なくなることも想定して、地域との交流の仕方を考える。 ●感染症対策をしながらできることは限られているので、菜園で収穫した種をご近所へ配り、交流を図る。
E. 運営推進会議を生かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●活動内容をお伝えする際、自分たちの活動を見直すことができている。 ●参加の案内がよくできているが、結果や取り組み内容があまり把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●資料開催をするときに、情報発信が一方的になりやすいので自社ホームページへ資料を掲載し、QRコード又は、URLの共有をする。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ●防災・避難訓練についての報告が一時的になっており、十分に共有できていないと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的に避難訓練や災害対策研修を行うことで利用者の安全確保の方法をスタッフ間で習得する。